尾張徳川の足跡を訪ねて　番外編 16～藤輪之御紋～

名古屋城西の丸御蔵城宝館で開催されている特別展「黄金をまとう鯱」に、第７代藩主宗春公の太刀拵が展示されています。



金銀の梨地粉を蒔いた後に透漆で塗りこんであります。装飾に三つ葉葵の紋がありますが、よく見ると藤で周りが囲まれていています。藤輪之御紋というそうです。三つ葉葵の紋が華やいでみえます。いろいろなエピソードが伝えられている宗春公ですが、この紋からも公の好みが伝わってきます。　三つ葉葵も、徳川家、水戸家、紀州家、尾張家などで微妙に違いがありますが、宗春公のアレンジは、また格別です。

金銀で装飾した太刀拵は、まばゆく感じられます。